

温泉の成分、禁忌症、適応症

源泉名及び採取地

片瀬11号、片瀬21号、白田11号、
対馬36号、熱川・北川45号
静岡県伊東市八幡野1151-4

泉質

ナトリウム・カルシウム-塩化物・硫酸塩温泉
(低張性・弱アルカリ性・高温泉)

泉温

採取地 63.8℃
(調査時の気温 24.0℃)

温泉の成分

		(pH 8.1)		
陽イオン	Na ⁺	418.4	mg/kg	
	K ⁺	30.9	〃	
	Mg ²⁺	4.7	〃	
	Ca ²⁺	108.1	〃	
陰イオン	HCO ₃ ⁻	124.7	〃	
	Cl ⁻	536.4	〃	
	Br ⁻	0.6	〃	
	I ⁻	0.1	〃	
	SO ₄ ²⁻	364.9	〃	
	HPO ₄ ²⁻	0.3	〃	
非解離成分	HA ₂ O ₂	0.2	〃	
	H ₂ SiO ₃	134.6	〃	
	HBO ₂	6.2	〃	
溶存ガス成分	CO ₂	17.6	〃	
その他微量成分	Al ³⁺	<0.05	〃	
	Mn ²⁺	0.05	〃	
	Fe ²⁺	0.07	〃	
	Fe ³⁺	<0.05	〃	
	Cu ²⁺	<0.05	〃	
	OH ⁻	0.011	〃	
総成分		1.748 g/kg		

禁忌症 浴用

急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、心臓病(ただし高温浴(42℃以上)の場合)、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、高度の動脈硬化症(ただし高温浴の場合)、高血圧症(ただし高温浴の場合)、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)

適応症 浴用

一般的適応症
神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進
泉質別適応症
きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病、動脈硬化症

温泉浴用上の注意事項

温泉には老化現象が認められ、地中から湧出した直後の新鮮な温泉が最も効果があると言われているが、それぞれの泉質に適する用い方をしなければかえって疾病に不利に働く場合がある。従って、浴用上の注意事項は次のとおりとする。

- 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当り1回程度とすること。その後は1日当り2ないし3回までとすること。
- 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。
- 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり(湯さわり又は浴場反応)が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
- 以上のほか入浴には次の諸点について注意すること。
 - (1)入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるに従って延長してもよい。
 - (2)入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
 - (3)入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない。(湯ただれを起こしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい)
 - (4)入浴後は、湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。
 - (5)熱い温泉に急に入門めい等を起こすことがあるので十分注意する。
 - (6)食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
 - (7)飲酒しての入浴は特に注意する。

片瀬11号、片瀬21号、白田11号、熱川・北川45号は源泉で加水しています。

温泉分析年月日
分析機関名

平成21年6月30日
(財)静岡県生活科学検査センター